

設楽ダムとよがわ流域県民セミナー（カワセミ）

第3回講座 開催計画

担当委員：蔵治・原田

テーマ： 「設楽ダムと三河湾の環境・生態系・漁業」

三河湾は閉鎖性水域であり、一般論として、河川からの淡水や土砂、栄養塩等の流入量が増加することによって湾内の環境や生態系が影響を受けやすい水域である。設楽ダムの建設によって三河湾の環境や生態系が影響を受け、漁業にも影響が及ぶのかどうかについては多くの人の関心事となっている。設楽ダムの建設事業者は、三河湾との因果関係を認めていないが、設楽ダム建設に反対する人たちは、三河湾への影響は甚大であると訴えている。

第3回セミナーは、学術的な立場および漁業者の立場から、三河湾および豊川河口域において、どのような問題があり、漁業者、国、県等の様々な関係者によって、問題の解決に向けてどのような取り組みがされてきたのか、今後どのような取り組みをされようとしているのかを学び、それらと両論との関係をディスカッションで議論することによって、設楽ダムが三河湾に及ぼす影響の両論への理解を深めることを目的として開催する。

両論は、ともに客観的な真実だけで完結しているわけではなく、価値観が入っている。両論のベースとして、共通して認識出来る客観的な事実があるはずであり、ディスカッションでは、どこまでが客観的な真実で、どこからが価値観の違いや事実の評価の違いに基づくものなのか、その構造をあぶり出すことを目指す。

日 時： 2012年11月23日（金祝） 13:00～16:30

場 所： 蒲郡市勤労福祉会館 大研修室

全体司会： 原田さとみ

内 容：

13:00～13:10 戸田リーダーのあいさつ・趣旨説明

13:10～13:50 鈴木輝明氏の講演

演題： 「二枚貝類の水質浄化機能と豊川河口域における大量発生 of の仕組み」

内容： 三河湾（全体、および豊川河口域）の環境、生態系と河川からの流入淡水、土砂、栄養塩等が三河湾に及ぼす影響について、学術的立場からの講演（漁業者の立場を代弁する内容を含む）

13:50～14:30 石戸孝行氏の講演

演題： 「しじみから教わること」

内容： 三河湾の水産物を消費者に届ける流通業界の立場からの講演

14：30～15：00 質問票記入、サイドイベント

15：00～16：30 質疑応答・ディスカッション

コーディネータ：蔵治

質問票は参考程度に用いるのみとし、コーディネータの司会により、自由な雰囲気
で質疑応答を行う。

(最大16：45まで延長あり)

鈴木輝明氏

プロフィール

1950年名古屋市生まれ、名城大学大学院総合学術研究科特任教授、農学博士。

国土交通省中部地方整備局伊勢湾再生海域検討会三河湾部会、三河湾流域圏会議、矢作川流域圏懇談会の委員を務める。著書に『水産の21世紀 海から拓く食料自給』（分担執筆 京都大学学術出版会、2010）、『環境配慮・地域特性を生かした干潟造成法』（分担執筆 恒星社厚生閣、2007）など。

石戸孝行氏

プロフィール

1938年千葉県柏市生まれ、(株)京北スーパー設立、代表取締役を30年以上務める。

現在、(株)京北スーパー相談役、(株)ケイ・ネットワーク代表取締役、(社)新日本スーパーマーケット協会顧問、生活協同組合パルシステム東京顧問などを務める。「自由人・旅士」の肩書きを持って、食文化の向上、食の安全等の講演活動を行っている。

質問シート

2012年11月23日講座

お名前（必ずご記入ください。 匿名、ペンネーム不可）	お住まい（市町村）	性別（○をつけてください） 男 ・ 女
年齢（○をつけてください）10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上		
どなたへの質問ですか？（○を→） 鈴木輝明さん ・ 石戸孝行さん		
質問内容： 箇条書きなど、わかりやすく、簡潔にご記入ください。		

